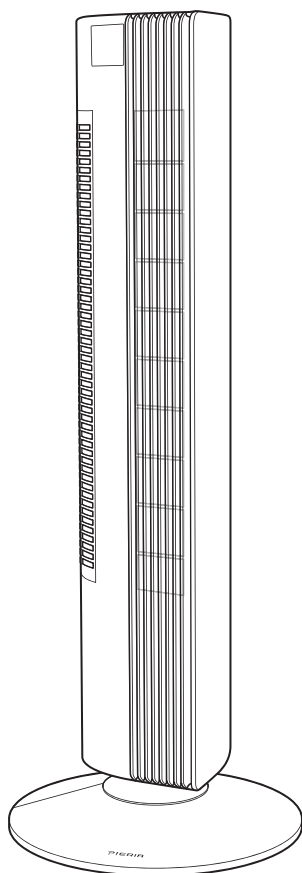


大風量タワーファン FTS-904

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

※ 本機はお客様組み立て商品となっています。

も く じ

安全上のご注意	P1～P2
各部の名称とはたらき	 P3
組み立てかた	 P4
正しい使いかた	P5～P9
お手入れと保存	 P10～P11
修理・サービスを依頼する前に	P12
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	P14
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	50Hz:55W / 60Hz:63W
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 28 × 奥行き 28 × 高さ 91 cm
質 量	約 5.8 kg

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

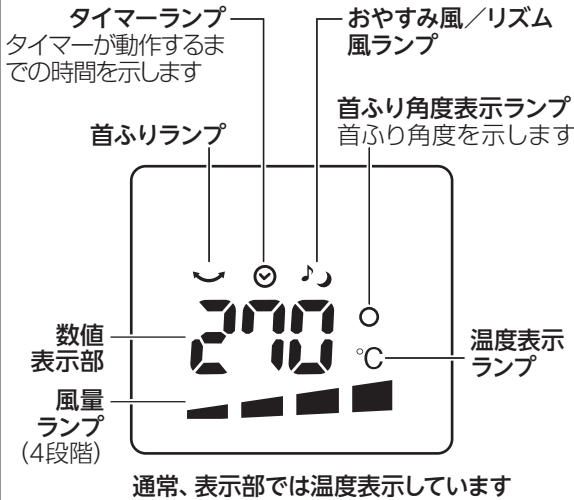
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		お手入れ後、吸気口カバーをしっかりと固定する。 取り付けが不十分だったり、正しく取り付けられていないと、けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。		
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。		
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。		

注意

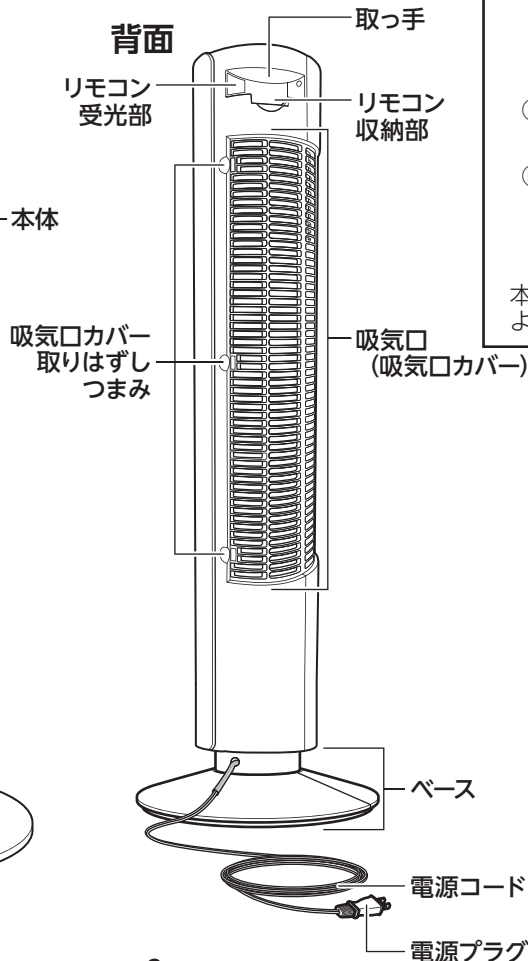
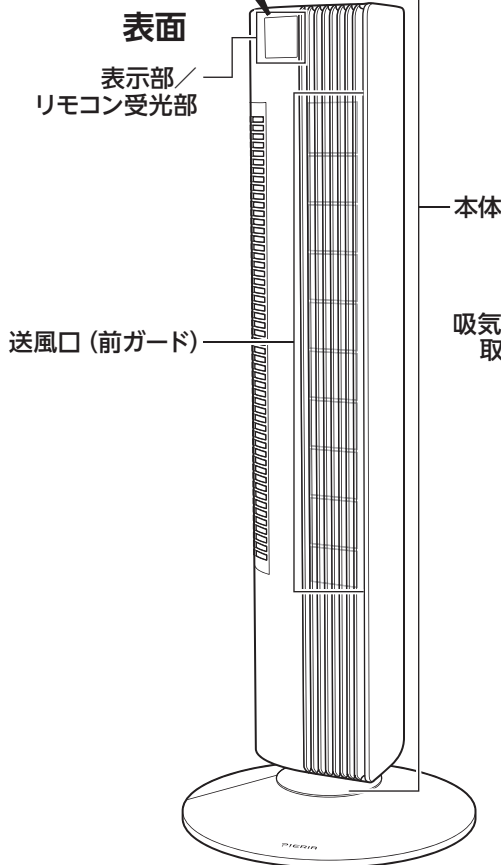
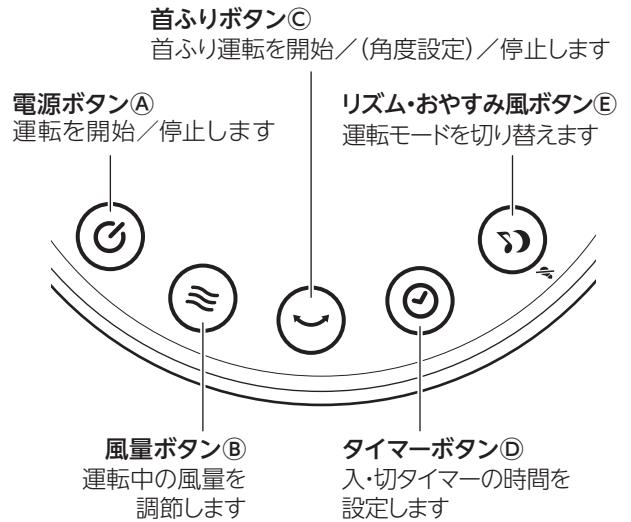
 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。	 禁止	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になることがあります。		ベース部が正しく取り付けられていないときは使用しない。 本体が垂直に設置されず、本体内部にホコリ・湿気など異物が入り、変形・感電・故障の原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		ガードの中や本体内部に指などを入れない。 けがの原因になることがあります。		リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。
	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になることがあります。		リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	風量に十分注意する(特に入タイマーを設定したとき)。 本機の風量は強いいため、風の当たる場所への影響(風による予期しない移動・転倒など)を十分に考慮して使用してください。		髪を送風口に近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。		
	首ふり運転による影響に十分注意する(特に入タイマー設定したとき)。 首ふり運転によって風の当たる場所への影響(首ふり運転による予期しない移動・転倒など)を十分に考慮して使用してください。		次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき

表示部

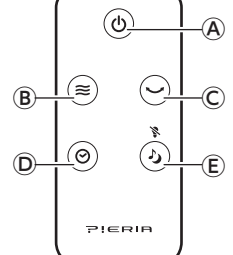


操作部



リモコン

《送信部》



本体操作部と同じように動作します

組み立てかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1個	リモコン	1個
ベース	2個	リモコン用コイン形リチウム電池(CR2032)	1個
ベース取り付けねじ	4個	取扱説明書(保証書含む)	1個
フィルター(吸気口に取付済)	1個		

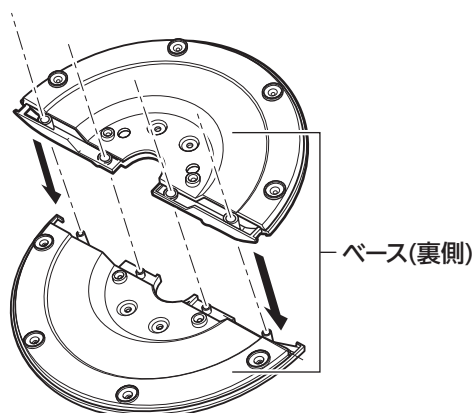
1. ベースを組み立てる

ベースを裏向きにし、ふたつのベースを中心から互い違いに組み合わせて、突起と穴を合わせてしっかりと差し込んでください。



注意

- ベース組み立てのときやベース取り付けのとき、指など挟まないように注意する。
- ベースを取り付けるとき、電源コードを挟まないように注意する。

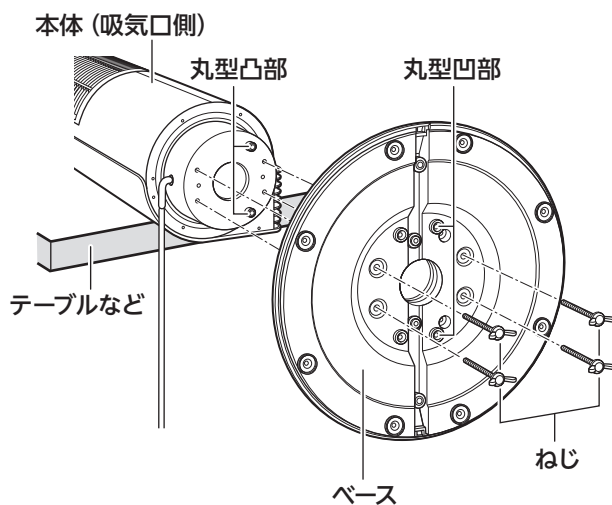


2. 本体にベースを取り付ける

テーブルの上などに、吸気口カバーが上側になるように本体を横にします。

本体側にある2か所の丸型突起部とベース側の丸型凹部の位置を確認し、それらを組み合わせるようにして、本体にベースを取り付けます。
付属しているねじで4か所固定してください。

※組み立てはテーブル・机などの台の上で行ってください。テーブル・机などを傷付けないように、必要であればバスタオルを敷くなどしてください。



正しい使いかた

使用前の準備

1. 本体を安定した水平な場所に設置する

- 本体とベースのあいだに電源コードをはさまないように注意してください。

⚠注意

- 電源コードに本体をのせないように注意する。
- 本体を持ち上げるときは、取っ手を持つか、両手で本体の下の方をしっかり持つようにする。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

ピーピーと音がします。

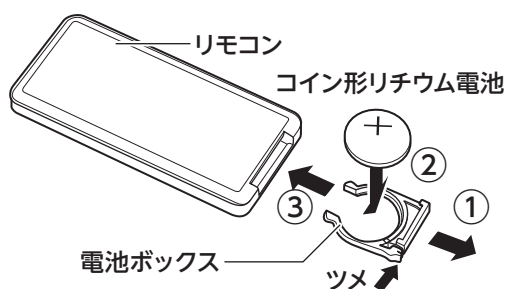
3. リモコンに電池を入れる

本体裏側のリモコン収納部にリモコンが収納されていますので取り出してください。

1. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①
電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。引き出しにくいときはツメをよじなどで内側に押しておくと引き出しやすくなります。
2. 電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにコイン形リチウム電池を取り付ける②
電池の⊕側を上にして取り付けてください。
3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③
カチッと音がするまで差し込んでください。

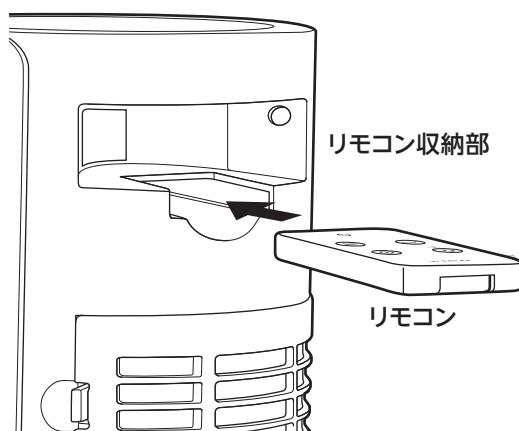
⚠注意

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。



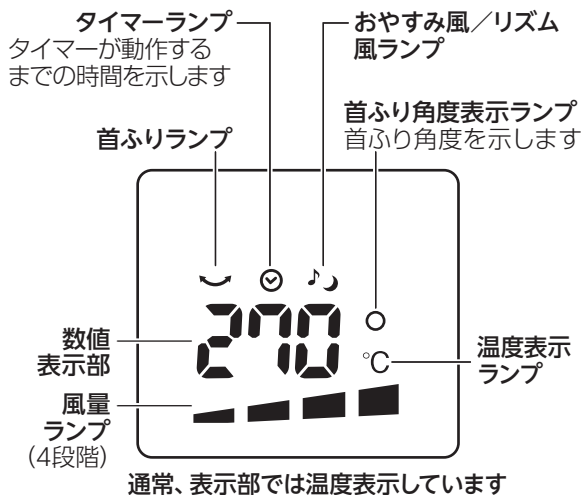
使用可能範囲

- 本体正面から直線で約5m
- 本体正面から左右に約30度
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

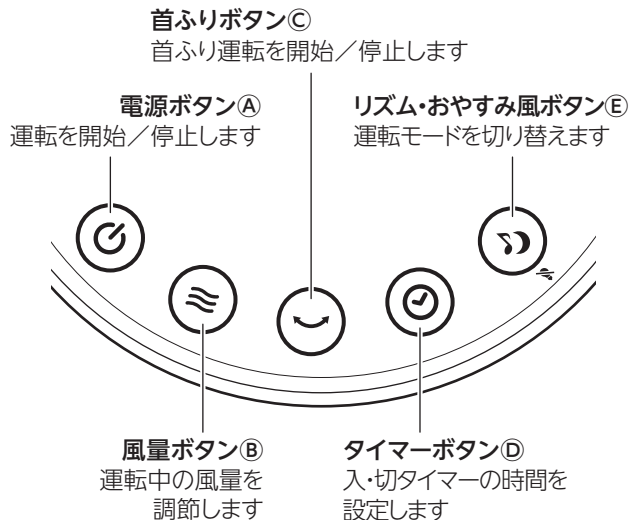


収納するときは表面を上にして、リモコン収納部に取り付けてください

表示部



操作部



運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンの①電源ボタンを押すと、運転を開始します。

- 本機の周囲の温度表示と現在の風量などを表示します。
- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量・首ふりで運転を開始します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に本体またはリモコンの①電源ボタンを押したときには、弱風運転を開始します。

メモリー機能

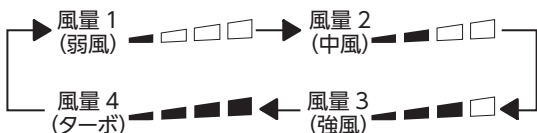
本体またはリモコンの①電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます（風量・首ふり）。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 風量：弱風、首ふり：なし

2. 風量を調節する

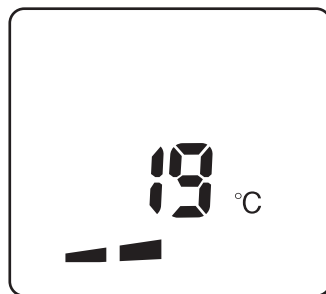
本体またはリモコンの②風量ボタンを押して風量を調節してください。



風量の設定には十分注意する。

本機の風量は強いいため、特に強風、ターボに設定するときは、風の当たる場所の影響を十分考慮してください。

《表示例》

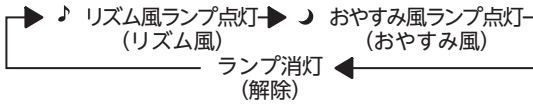


風量2 (中風)、首ふりなし、室温19度

正しい使いかた (つづき)

3. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの④リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。



※ 設定されたリズム風ランプ、おやすみ風ランプが点灯します。

減光モード

本体またはリモコンの操作をしてから約60秒経過すると、自動的に点灯・点滅しているランプが減光モードになります。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

消灯モード

本体またはリモコンの④リズム・おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、消灯モードが設定され点灯・点滅するランプを消灯させることができます。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに消灯モードが解除され、ランプは通常明るさで点灯・点滅します。

リズム／おやすみ風機能について

リズム風 (リズム風ランプが点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの⑤風量ボタンを押して機能を切り替えることで風量パターンが変化します。

おやすみ風 (おやすみ風ランプが点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの⑤風量ボタンを押して機能を切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

(ターボ風時)

ターボリズム風 → 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(強風時)

強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(中風時)

中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(弱風時)

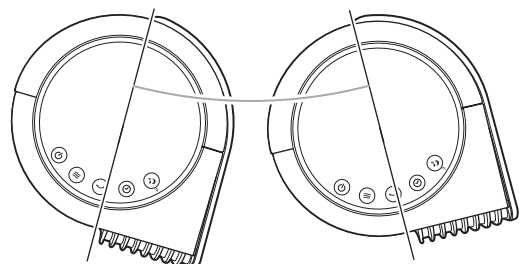
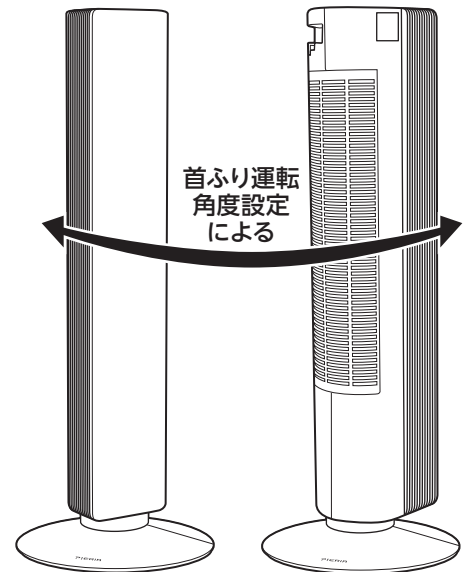
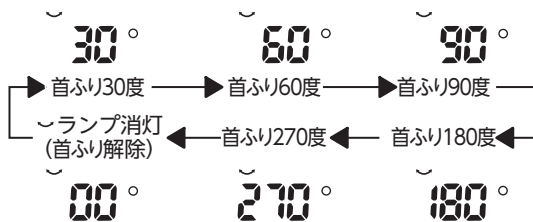
弱リズム風 と同じです。

4. 首ふり運転を開始／首ふり運転角度設定／首ふり運転停止する

運転中に本体またはリモコンの⑥首ふりボタンを押すと、首ふり運転を開始します。本体またはリモコンの⑥首ふりボタンを押すたびに首ふり角度が切り替わります。

表示部の数値表示部に角度が表示されます。

・ ベースより上の本体部分が動きます。



約30度

首ふりの1回目は、本機内で現在の角度など確認するため、最初に右に終端まで首をふり、その後左いっぱいまで首をふり、再度、右へ約135度回転してから、設定した角度の首ふりを開始します。

- 首ふり運転を停止するときは、⊙首ふりボタンを何度か押して、首ふりランプが消灯、角度表示が消灯したことを確認してください。

5. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの⊙電源ボタンを押すと、運転が停止します。

切り忘れ防止機能

最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

6. 電源プラグをコンセントから抜く



警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

タイマーを設定する

切タイマーの設定

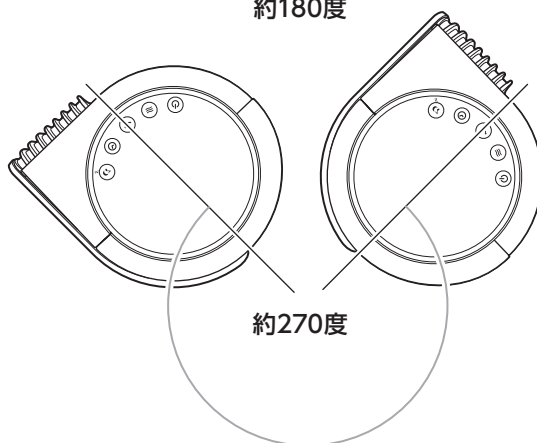
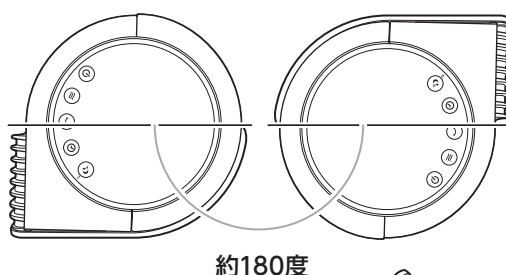
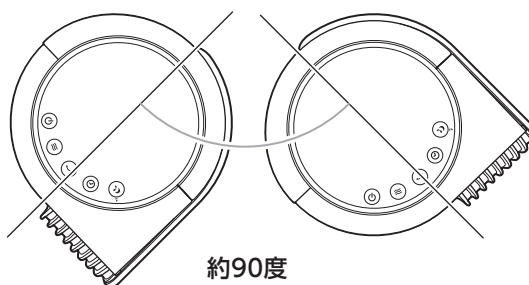
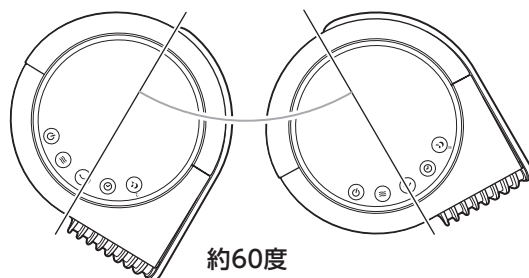
設定した時間が経過すると自動的に運転を停止させる、切タイマーを設定することができます。

1. 運転中に⊙タイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを押すと、タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8時間)。

切タイマーの動作時間は表示部の数値表示部に表示されます。本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを押して設定することができます。

- タイマーランプ・表示部を確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- 表示部は切タイマーを設定したあと、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。
- ⊕リズム・おやすみ風ボタンを押しておやすみ風を設定していると、切タイマーが作動するまで風量パターンが時間とともに変化します(「リズム／おやすみ風機能を作動させる」→7ページ)。



タイマーランプ



正しい使いかた (つづき)

2. 切タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを何回か押し、タイマー動作時間を0時間にして、タイマーを解除状態にする

入タイマーの設定

設定した時間が経過すると自動的に運転を開始させる、入タイマーを設定することができます。

⚠注意

入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。
子供がいたり、本体が倒れるような強い風が入ってくるところであったり、周囲に火気があるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

1. 運転が停止している状態で、⊙タイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止している状態で本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを押すと、タイマーランプが点灯し、入タイマーが設定されます (1, 2, 3, 4, 8時間)。

- ・直前に使用していた風量ランプが (首ふりしていたときは首ふりランプも) 点滅します (→メモリー機能)。

入タイマーの動作時間は⊙タイマーボタンを押して設定することができます。

- ・タイマーランプは入タイマーを設定したあと、入タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

2. 設定した時間に運転する風量などを設定する

本体またはリモコンの⊙風量調節ボタンを押して、設定した時間に運転する風量を設定します (風量表示インジケーターが点滅します)。

- ・風量だけでなく、⊙首ふりボタン、⊙リズム／おやすみ風ボタンを押して、設定した時間に運転する風を設定することができます。
- ・設定は、ランプの点滅により確認できます。

切り忘れ防止機能

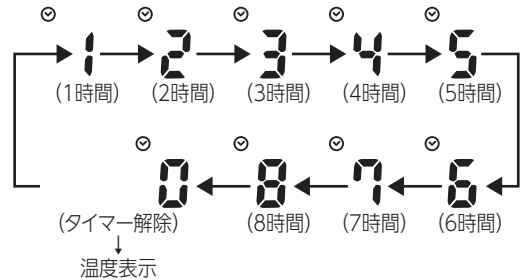
入タイマーで運転を開始したときも、12時間連続運転すると、運転を自動的に停止します。

運転開始後、ボタンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を停止します。

3. 入タイマーをキャンセルするには、⊙タイマーボタンを何回か押し、タイマー動作時間を0時間にして、タイマーを解除状態にする

タイマー表示について

タイマー表示は、本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを押すごとに表示部が下のように切り替わります。



タイマーを設定したのち、5秒後に温度表示になります。

お手入れと保存



警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

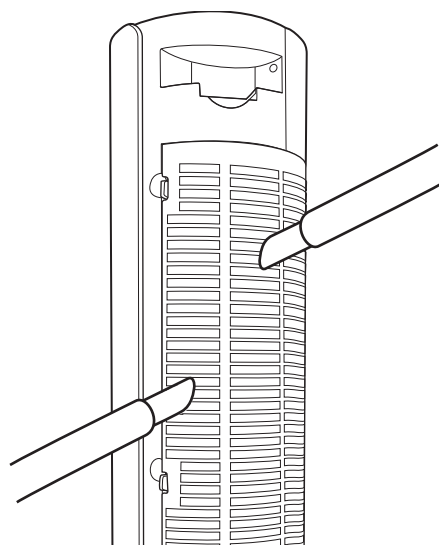
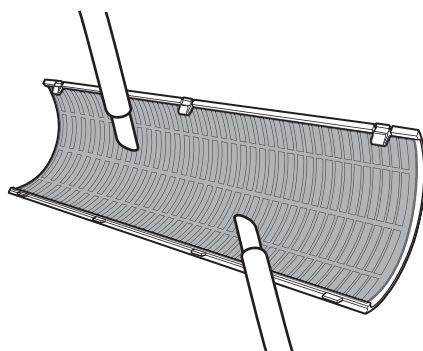
通常のお手入れ

送風口・吸気口のホコリを掃除機で吸い取ってください。

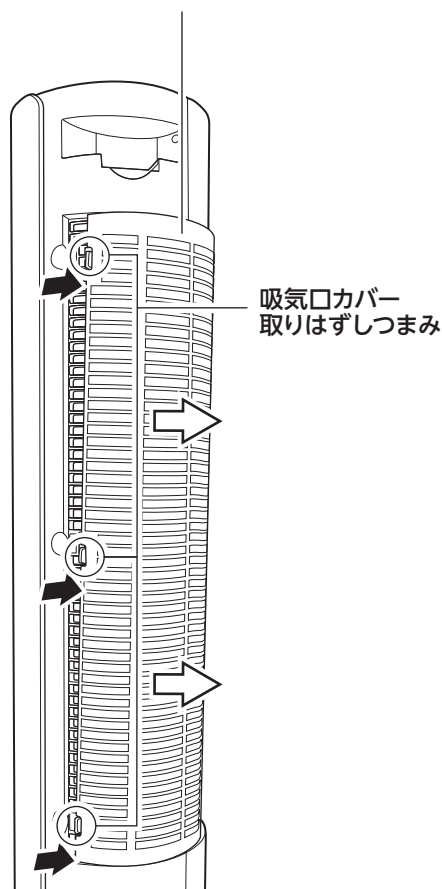
本体内部のお手入れ

定期的に以下の手順に従って行なってください。

1. ④電源ボタンを押して運転を停止させ、電源プラグをコンセントから取りはずす
2. 左側の吸気口カバー取りはずしつまみ(3ヶ所)を押して、吸気口カバーを取りはずす
手前に引いて開いたあと、右側のツメを取りはずしてください。
3. 吸気口カバー裏側をお手入れする
送風口・吸気口のホコリを掃除機で吸い取ってください。
汚れがひどい時は吸気口カバーのみ丸洗いできます。



吸気口カバー



吸気口カバー
取りはずしつまみ

お手入れと保存 (つづき)

4. お手入れが終わったら、吸気口カバーを取り付ける

吸気口カバーにある右側のツメ (4ヶ所) を本体側の凹に入れて、そのままはずれないように本体側に取り付けます。

吸気口カバー取りはずしつまみ (3ヶ所) のフックを奥まではめ、吸気口カバーがはずれないことを確認してください。

※ 取り付けるとき、下側のツメがはずれやすいため注意してください。

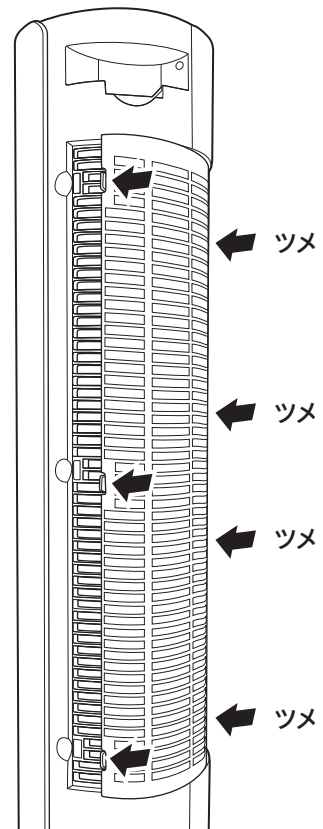


注意

- お手入れ後は十分乾燥させる。
- お手入れのあとは必ず吸気口カバーを正しく本体に取り付ける。
通常入らない部分にほこりが入ったり、故障の原因になります。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、湿気のない場所に保存してください。
- 買い上げの商品が入っていた箱に入れるときは、「組み立てかた」(4ページ) と逆の手順でベースを取りはずしてください。
- リモコンの電池ははずしておいてください。



修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の人 は 分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
風力が弱い	・吸気口や送風口にホコリがたまっている	ホコリを掃除機などで取り除く
	・吸気口がふさがれている	・吸気口をふさがない場所に移動する ・吸気口をふさいでいるものを取り除く
異音がする	・ベースが正しく取り付けられていない	ベースを正しく取り付けなおす (4ページ)
	・本体内部に異物がある	本体内部を確認・掃除、異物を取り除く
	・前ガード・吸気口カバーに異物が付着している	前ガード・吸気口カバーの異物を取り除く
突然運転が停止した	・切り忘れ防止機能がはたらいた (8ページ)	本体またはリモコンの⑥電源ボタンを押して運転を開始させる
表示部・ランプが暗い	・1分以上操作がなかったため、減光モードが設定されている (7ページ)	本体またはリモコンの操作部ボタンを1度押す
首ふりのとき、最初に設定した角度と違う角度で首ふりをする	・そのような仕様です	一度大きく首ふりをしてから、設定した角度で首ふりをします (8ページ)
リモコンから操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・リモコン受光部に送信部を向けていない	リモコンの送信部を受光部に向けるようにする (特に首ふりしているとき)
	・電池が逆に入っている	電池を正しく入れる (5ページ)

長年ご使用の扇風機はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります） [設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間 など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。